

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和 6年 1月 20日

事業所名 こばんはうすさくら 川崎港町教室

保護者等数(児童数) 34 回収数 33 割合 97%

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	24	5	0	4	子どもが午後のクラスになってから一回も見学や参観をしたことがないのでわかりません。	・広いとは言えない室内ですが、スペースを有効に活用できるように活動を工夫してまいります。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	28	0	0	5	作業療法士、言語聴覚士など専門の先生がいてくださり安心です。 職員の人数を把握していないのと、顔と名前が一致できない…。 発達に合った支援を受けることができているか	・職員についてはお便り等で紹介してまいります。
	3	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	26	2	0	5		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	28	3	0	2		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	32	0	0	1	社会生活に必要な基本動作から専門的なことまできちんと組み込んで頂いています。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	33	0	0	0	社会生活に必要な基本動作から専門的なことまできちんと組み込んで頂いています。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	1	0	0	できるようになってほしいことに対して基礎から順番に教えて支援して下さっています。 特に制作やクッキングが好きで楽しみにしています。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	33	0	0	0	1日利用の日だけでなく、制作やお出掛け等幅広く経験させて頂いています。 様々な楽しいプログラムで子ども毎回嬉しそうです。楽しく通えているため親としても安心です。	・引き続き子どもたちの成長と興味のきっかりとなるプログラムを提供してまいります。
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	2	3	18		・必要性を考慮して実施について検討してまいります。
保護者 への 説明 等	10	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	0	0	0	別の教室から移動させていただいた際もきちんと説明していただきました。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	31	0	0	2	保護者のニーズをよく理解して下さり、大変分かりやすく目標設定と説明をして頂きました。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	12	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	13	4	1	15		・支援に内容については個別に考慮してまいります。
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	31	1	0	1	さいなことも連絡帳やLINE、送迎時に共有頂けて大変助かっています。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30	2	0	1	面談はもちろん保護者が持つ困りごと等、都度答えて助言して下さり安心できます。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	2	15	13	無くて構わないと思っています。	新型コロナウイルスの影響で交流会等は行っておりませんでしたが、必要性を改めて今後検討してまいります。
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	28	1	0	4	相談ごとに対するレスポンスが迅速で安心できます。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	30	1	0	2	送迎で職員の方と話す時に他の保護者の方が待っている距離が近く内容が聞こえているので配慮頂きたい。	・今後もご満足いただけるように支援してまいります。
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	33	0	0	0		・今後もこばん新聞やInstagram等で活動状況や教室の様子をお伝えしてまいります。
19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	30	2	0	1		・今後もご満足いただけるように支援してまいります。	
非常 時 等 の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	29	1	0	3		・緊急時の対応は契約時にお伝えをさせていただいております。
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32	0	0	1	子ども本人もしっかりと身についている様子で安心できます。	・避難訓練については月に一度曜日を交えて実施しています。

満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	28	5	0	0	先生たちのおかげで出来ることも増えて毎回楽しみにしています。時々行くのを嫌がります。休みの日にも先生先生！と言って行きたがっています。楽しく通っています。行き渋りはありますが、行ってしまえば楽しんでいると思います。	・今後もご満足いただけるように対応していきます。
	23	事業所の支援に満足しているか	33	0	0	0	同事業所の他拠点を利用して頂いていましたが、今利用させて頂いている教室はより満足度が高く心から信頼できます。支援のおかげで楽しく成長発達しています。ありがとうございます。	・今後もご満足いただけるように対応していきます。
			630	32	19	78	83%	

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 1月 20日

事業所名 ぽばんはうすさくら 川崎港町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	4		・10人以上の活動には部屋が広いとは言えないが、個別の際はパーテーションを使用したり、すぐ近くに公園があるので、天気の良い日は公園を活用している。
	2 職員の配置数は適切であるか	7	1		・適切な配置がなされるように利用者数の把握をしている。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	6	2	テーブルでわかりやすく遊ぶ空間を示したりしている。 クールダウンできるスペース(環境)がない。	・痙攣を起した時にクールダウン出来る環境(部屋)がなく、トイレも車いすが入れるようにはなっていない。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	7	1		・冬は床が硬くて冷えすぎる。構造上仕方ないが、換気や暖房を上手く使用しながら適切な環境を整えていく。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	月に1回全体(常勤)ミーティングをしている。	・必要に応じてスマートフォンのツール(BAND)を活用して全職員に共有できるようにしている。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		・アンケートをもとにフィードバックを行う。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	5		・公式LINEや今後法人のHPを通して周知していく。
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	5	2		・現状把握出来ていない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7	1		・新人研修や他教室との交流研修を実施している。他、強度行動障害支援者養成研修を法人として積極的に受けている。
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	7	1		・今後も継続していく。
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	7	1	社内書式を利用	・今後も継続していく。
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	6	2		・今後も継続して行っていく。
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8	0	専門職視点の支援も含めて行っている。 各児童の個別支援計画を確認。	・児発管を中心に立てた計画に沿い、個々の応じて個別学習の内容を検討し、支援している。
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	7	1		・児発管を中心にチームでプログラムの立案をしている。
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8	0	季節に合わせて毎月プログラムを作成している。	・季節感のあるプログラムや外出・製作等、パランスよく子どもたちが飽きないプログラムの工夫をしている。
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	8	0		・集団プログラムと個別学習を毎日実施している。
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	当日療育にあたる職員と児童の確認と動きの確認をしている。	・毎朝朝礼を実施し、送迎や申し送り事項、人員配置の確認は前日の終業前に全従業員に携帯で確認が出来るようにしている。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	4	グループチャットにて情報共有を行っている。	・必要があれば共有し、申し送り事項は必ず毎日記入して次の朝の朝礼で共有周知出来るようにしている。また、申し送り事項はBANDにアップして全職員が見られるようになっている。
19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7	1		・連絡帳や個別記録を取っている。ケースによってはヒヤリハットの記録を取り、共有している。	
関係機関や保護者	20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	6	1		・児発管を中心に定期的にカンファレンスを行って見直しをしている。
	21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	2		・依頼があれば参加している。
	22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	3	解決が困難な事例は関係機関と連携している。	・川崎市南部地域療育センターや虐待事例では役所と連携している。
	23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている				・対象児については川崎市南部地域療育センターと連携している。
	24 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている				・医療的ケア児は現在在籍していない。
25 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	2	5		・現状事例は多くないが、依頼があれば対応する。	

保護者との連携	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	3		・現状事例は多くないが、依頼があれば対応する。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	1	7		・必要があれば療育センターと連携し、各専門分野にて研修を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	0	7		・利用する子どもの特性や、通常保育園や幼稚園に通っている子が利用するので、必要性から検討する。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	6		・現状そういった会議に行くことはない。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7	1		・利用時には毎回必ず連絡帳でやり取りをし、帰り送迎の際にその日の様子を必ずお伝えしている。問題があれば即時お伝えし、電話での相談も随時行っている。
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	5		・必要に応じて電話相談を受けたり、送迎時に必要事項をお伝えする。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		・今後も契約時に行う。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	8	0		・今後も契約時に行う。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	7	1		・申し出があれば随時相談や面談を受け付け、実施している。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	1	6		・必要性から検討していきたい。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	8	0		・クレームについては管理者、必要に応じて法人代表に報告し、適切に対応を行っている。
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	7	1		・新聞やInstagram等で活動内容を見る化し、プログラム予定等は公式LINEにも発信している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8	0		・新聞やInstagram等で発信の際は、写真掲載の可否をチェックしており、個人情報の持ち出しについても厳重に取り扱っている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8	0		・今後も継続していく。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	4	4		・事業所の特性から地域住民を招待する等の行事は各教室でなく法人全体で検討する。 ・ハロウインの時は子どもたちにお菓子を渡していただく等のご協力を近隣商店の方にいただいた。
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	7	1		・契約時に保護者に説明を行っている。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	8	0		・今後も継続的に曜日を覚えて実施していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	6	2		・今後も契約や個別支援計画説明時にしっかりと確認していく。
44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	6	2		・完全除去対応の児童がいれば、指示書を提出いただき対応する。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8	0		・事例集までは作成出来ていないので、記録が集まり次第、事例検討を行う。また、新入の職員に周知出来るようにしていく。	
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7	1		・虐待防止委員会の設置。 ・研修を実施。 ・役所等からの情報(要対協)との情報交換も必要に応じて行っている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	7	1		・現在ケースとしてはないが、やむを得ず身体拘束を行う可能性のある場合は保護者に説明を行い同意書を得るようにしている。	